

科学研究費助成事業（科学研究費補助金）研究成果報告書

平成 24 年 5 月 31 日現在

機関番号：32690

研究種目：基盤研究（C）

研究期間：2009～2011

課題番号：21530414

研究課題名（和文）

東アフリカ農産物流通・加工分野における南アフリカ企業の進出とローカル企業の影響

研究課題名（英文）

South African Firms in Agro-Industry and Retail Sector in East Africa:
The investment and impact on local firms

研究代表者

西浦 昭雄（NISHIURA AKIO）

創価大学・経済学部・教授

研究者番号：00298217

研究成果の概要（和文）：

東南部アフリカ 5 개국、延べ 5 度にわたる現地調査により、本テーマに関係する政府機関、経営者団体、製造企業、国際機関等計 83 件に及ぶインタビューを実施し、既存の論文・報告書だけでは得難い貴重な情報を入手することができた。さらに、大麦農家（ウガンダとタンザニア）、ソルガム農家（ウガンダ）、パイナップル農家（ウガンダ）にも訪問し、計 175 件に及ぶ質問票の回収できた。その成果は学会発表と論文・図書で公表している。

研究成果の概要（英文）：

We were able to obtain important information related this issue through 83 interviews with the government agencies, industrial associations, manufacturing firms, international agencies etc. by 5 times field researches in 5 south eastern African countries. Moreover, we are able to get questionnaires at 175 samples barley, sorghum, and pineapple farms. The article and oral presentation related of these research achievements have been done constantly.

交付決定額

（金額単位：円）

	直接経費	間接経費	合計
平成 21 年度	1,100,000	330,000	1,430,000
平成 22 年度	1,200,000	360,000	1,560,000
平成 23 年度	1,000,000	300,000	1,300,000
年度			
年度			
総計	3,300,000	990,000	4,290,000

研究分野：直接投資論

科研費の分科・細目：経営学・経営学

キーワード：国際経営、海外投資戦略、東アフリカ、農産物加工業、食品産業、スーパーマーケット、南アフリカ

1. 研究開始当初の背景

長期にわたり停滞していたアフリカ経済

に変化がみられる。近年の資源価格の高騰はアフリカに海外直接投資（FDI）の増加と高

成長をもたらす一方で、アフリカ内における格差を拡大させた。アフリカが持続的な経済発展を達成するためには、非資源セクターの発展が不可欠であることが、近年の研究でも指摘されている。しかし、アフリカの非資源セクターに注目した研究となると非常に少ない。これまでのアフリカの企業研究の多くは、産業セクターをまたがって収集される世界銀行の企業データによっているため、一部の産業セクターで生じている変化に十分な注意が向けられているとはいえなかった。

本研究で「小売業と食品加工業」「東アフリカ地域」「南アフリカ企業」に注目するのは以下の理由による。アフリカにおいて農産物市場としての「スーパーマーケット」の役割が大きくなり、流通形態を激変させている。それを牽引しているのが南アフリカ企業で、南部アフリカでは南アフリカ資本のスーパーマーケットと取引できるか否かが農家にとって死活問題になりつつある。また、「食品加工業」はアフリカで需要が拡大し、雇用創出効果が大きいと期待される産業であり、外資系の「スーパーマーケット」による影響を受けている可能性がある。次に「東アフリカ地域」には、タンザニアの金鉱業があるものに大規模な資源セクターを有しない一方で、ビール製造を含む食品加工業への南アフリカ企業の進出が見られている。最後に「南アフリカ」は、アフリカにおける非資源FDIの重要な役割を占めている。非資源セクターにおける南アフリカ企業の対アフリカ投資は伝統的に南部アフリカが中心であったが、1990年代後半以降は東アフリカに対しても活発に進出している。

2. 研究の目的

本研究の目的は、アフリカにおける農産物

の流通と加工における急速な変化に注目し、東アフリカ地域の小売業（スーパーマーケット）と食品加工業に進出している南アフリカ企業等の経営戦略とローカル企業への影響に焦点をあてて分析することであった。

3. 研究の方法

日本における調査に加えて、南アフリカと東アフリカ地域のケニア、タンザニア、ウガンダ、エチオピアにおける計5回のフィールド調査を行い、インタビュー、アンケート調査、資料収集）を行うことで多角的に分析した。

4. 研究成果

東南部アフリカ5か国、延べ5度にわたる現地調査により、本テーマに関係する政府機関、経営者団体、企業（ビール産業、ジュース産業、ビスケット製造、植物油製造、スーパーマーケット等）、国際機関等に計83件に及ぶインタビューを実施することができ、既存の論文・報告書だけでは得難い貴重な情報を入手することができた。さらに、大麦農家（ウガンダとタンザニア）、ソルガム農家（ウガンダ）、パイナップル農家（ウガンダ）にも訪問し、計175件に及ぶ質問票の回収に成功した。この中でもビール産業とスーパーマーケットに関する成果を紹介したい。

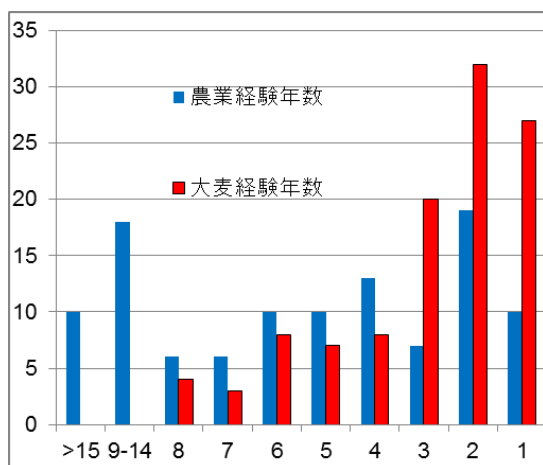
（1）ビール産業に関する研究

成長が著しいビール産業について、ウガンダ、タンザニア、ケニア、南アフリカにおいてビール製造企業を訪問するとともに、ウガンダとタンザニアではその原料となる大麦農家に関する調査を実施した。ウガンダについては、2010年2月・8月の現地調査を通じ

て有効回答数 109 件の大麦農家から質問票を回収でき、大麦栽培の年数や動機、障害、市場等についての情報を入手できた。主たる調査目的は、ビール製造企業の大麦現地調達化による影響を考察することにあつたが、図 1 のように調査地においては大麦栽培 2 年以内の農家が過半数を占めた。

詳細は、3 回にわたる学会発表を経て、下記図書①に英文論文としてまとめた。現在、査読プロセスが終了し、発刊準備に入っている。これまでウガンダのビール産業に関する研究がほとんどなされていなかったことから新たな視角を提供するものと期待される。

図 1 サンプル農家の農業・大麦経験年数



注：サンプル数 109。

出所：現地調査より作成。

また、2011 年 8 月にはタンザニアにおいても調査を実施し、その内容に関して学会報告をした。ウガンダとタンザニアのビール産業に関する比較研究に発展させたいと考えている。

(2) スーパーマーケットに関する研究

アフリカにおいて拡張を続けるスーパーマーケットに関して、タンザニア、ウガンダ、エチオピア、ケニア、南アフリカの 5 か国で

インタビュー調査を実施した。

このうちウガンダでは、青果部門（野菜・果物）に注目し、その運営や調達方法について明らかにした（表 1 参照）。また、ウガンダに店舗をもつ南アフリカとケニア本社に対してもインタビューを行うことで複合的に考察した。その結果、各社において異なる青果の調達方針をもち、さらには国によっても調達方法が異なることがわかった。これらの成果の一部は、学会発表を経た後、下記図書③に日本語論文としてまとめ、公刊した。日本において、アフリカのスーパーマーケットに関する学術論文の先駆的なものになった。

表 1 ウガンダにおけるスーパーマーケットの青果調達方法

スーパーマーケット名	青果部門の運営	野菜・果物の調達方法
ナクマツト社（ケニア資本）	専門業者に委託。	専門業者が仲買人を通じて。
ウチュミ社（ケニア資本）	直営方式。ウガンダ店が独立して発注。	6つの商業農家と契約。他は仲買人。
ショップライト社（南アフリカ資本）	フレッシュマーケット・ウガンダ社が運営。	フレッシュマーケット・ウガンダ社が農家 15、仲買人 7、輸入業者 3 社と取引。
クオリティ社（現地資本）	直営方式。	仲買人を通じて。

出所：関係者へのインタビューをもとに作成。

5. 主な発表論文等

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

[雑誌論文] (計4件)

- ①西浦昭雄「南アフリカの労使産業－衣料産業を中心に」『日本労働研究雑誌』第599号、2010年、pp.91-92。
- ②西浦昭雄「ウガンダの労使産業」『日本労働研究雑誌』第598号、2010年、pp.95-96。
- ③西浦昭雄「ケニアの労使関係」『日本労働研究雑誌』第597号、2010年、pp.113-114。

[学会発表] (計7件)

- ①西浦昭雄「タンザニアのビール産業と大麦農家」日本アフリカ学会第49回学術大会、2012年5月26日、国立民族学博物館。
- ②西浦昭雄「ウガンダのビール産業－大麦の現地調達化と農家への影響」国際開発学会春季大会、2011年6月4日、JICA研究所。
- ③西浦昭雄「ウガンダのビール産業と大麦農家」日本アフリカ学会第48回学術大会、2011年5月21日、弘前大学。
- ④西浦昭雄「The Rise of Supermarket and Transaction of Fruit and Vegetables in Eastern Africa」日本アフリカ学会関東支部設立50周年記念集会、2010年12月11日、法政大学。
- ⑤西浦昭雄「南アフリカにおけるアパルトヘイトと企業グループ」社会経済史学会第79回全国大会、2010年6月20日、関西大学。
- ⑥西浦昭雄「東アフリカの食品産業と南アフリカ企業の影響－予備調査報告」日本アフリカ学会第47回学術大会、2010年5月29日、奈良県文化会館。
- ⑦西浦昭雄「南アフリカ黒人中間層の台頭と影響」日本アフリカ学会第46回学術大会、2009年5月24日、東京農業大学。

[図書] (計11件)

- ①Nishiura Akio “Contract Farming and the Beer Industry in Uganda,” ed. Fukunishi Takahiro (書名未定。掲載決定) (査読あり)。
- ②西浦昭雄「南アフリカ企業の海外進出－為替管理政策の変化と企業の反応」牧野久美子・佐藤千鶴子編 (書名未定。掲載決定) (査読あり)。

- ③西浦昭雄「東アフリカにおけるスーパーマーケットの台頭」、川端正久・落合彦編『アフリカと世界』晃洋書房、2012年、pp.235-253 (査読あり)。

- ④西浦昭雄「南アフリカの国外進出とその影響－タンザニアの事例」牧野久美子・佐藤千鶴子編『ポスト移行期南アフリカの社会変容』アジア経済研究所、pp.65-80、2011年 (査読なし)。

- ⑤西浦昭雄「アフリカは持続可能か－資源、製造業、南アフリカ」峯陽一・武内進一・笹岡雄一編『アフリカから学ぶ』有斐閣、pp.263-288、2010年 (査読あり)。

- ⑥Nishiura Akio, “The Food Industry and Supermarkets in Eastern Africa: A preliminary report on research in Tanzania and Ethiopia” ed. Takahiro Fukunishi, *African producers in the New Trend of Globalization: An Interim Report*, IDE-JETRO, 2010, pp.43-56 (査読なし)

- ⑦西浦昭雄「アフリカ地域産業への中国インパクト」平和安全保障研究所編『中国のアフリカおよびオセアニアにおけるプレゼンス』平和安全保障研究所、pp.95-114、2010年 (査読なし)。

- ⑧Nishiura Akio, *Determinants of South African Outward Direct Investment in Africa*, African Centre for peace and Development Studies, Ryukoku University, 2009 (査読なし)。

6. 研究組織

(1) 研究代表者

西浦 昭雄 (NISHIURA AKIO)
創価大学・経済学部・教授
研究者番号：00298217

(3) 連携研究者

福西 隆弘 (Fukunishi Takahiro)
独立行政法人日本貿易振興機構アジア経済研究所・地域研究センター・研究員
研究者番号：80450526